

9 年表

年 代	地 い き の で き ご と	学校などのできごと
明治	1870 (明治3年) ・養蚕ようさんが始まる (69) ・だれもが名字をつけられるようになる (70) ・郵便ゆうびんを取りあつかい始める (72) ・愛媛県ができる (73) ・大洲せいしに製糸工 場こうじょうができる (74) ・人力車じんりきしゃや自転車じてんしゃが走り始める ・大洲警察署けいさつしよができる (77) ・このころからマッチを使い始める	・小学校ができる (72)
	1880 (13) ・肱川ひじかわ大洪水だいこうずい, 水位すいが約11メートルになる (86)	・小学校が尋常じんじょう小学校しょうがっこうとなる (87)
	1890 (23) ・大かんばつ, 37日間雨なし, 大洲の降水こうすいりょう量4ミリ (94)	・大洲の学校で初めて遠足はじを行う
	1900 (33) ・大洲うち こ～内子いぬよせ～犬寄せとが 峠とうげが通れるようになる ・大洲ながはま～長浜まつやま～松山どうろに道路が通る	・義務教育ぎ む きょういくの期間が4年になる (00) ・県立宇和島中学校大洲分校 (今の 大洲高校) ができる (01) ・私立大洲女学校しりつ しょうがっこう (今の 大洲高校) ができる (03) ・大洲分校が県立大洲中学校となる (04) ・私立女学校が大洲町立高等女学校 (後に喜多郡立になる)となる (06) ・義務教育の期間が6年になる (08)
	1910 (43) ・電話でんわが通じる (10)	
大正	・松山で初めて活動写真かつどうしゃしん (無声映画) 上 映 (11) ・電灯でんとうがつく (12) ・瑞龍寺ずいりゅうじ (沖浦おきうら) にある木造十一面観音立像もくぞうじゅういちめんかんのんりつぞうが 国の重要文化財じゅうようぶん かしとなる (12) ・肱川鉄 橋ひじかわてつきょうができる (13)	・大洲幼稚園ようちえんができる (14)
	1920 (大正9年) ・大洲～長浜間に自動車きやくば しゃ, 客 馬車きやくばが走る (15) ・愛媛鉄道の大洲～松山間かいどうが開通する (18) ・出石寺しゅっせき じ (豊茂とよしげ) の銅 鐘どうしやう が国の重要文化財となる (18) ・愛媛鉄道の大洲～内子間が開通する (20) ・ラジオ放送ほうそうが始まる ・大洲～大川～野村に道路が通る ・県道大洲～浮穴線うけなせんが開通する (23)	・郡立高等女学校ぐんりつこうとうが県立大洲高等女 学校となる (21)

年 代		地 い き の で き ご と	学校などのできごと
大 正	1930 (昭和5年)	・国鉄が松山まで通る (27)	・県立大洲農 業 補習学校(後に農業 専修学校, 今の大洲農業高等学校) ができる (25)
昭 和		・愛媛鉄道が国鉄になる (33)	
		・長浜大橋が完成する, 長浜水族館ができる (35)	
		・国鉄伊予大洲駅ができる (35)	
		・国鉄バスが走るようになる	
		・日本が中国と戦争を始める (37)	
		・第2次世界大戦が始まる (39)	
		・国鉄予讃本線の夜屋トンネルができ, 八幡浜ま で鉄道が通じる(39)	
		・米が配 給となる (40)	・尋常小学校が国民学校となる (40)
		・太平洋戦争が始まる (41)	
	・大洪水にみまわれる (43、45)	・農業専修学校が県立大洲農業学校 となる (40)	
・国鉄予讃本線が高松～宇和島間が全通する (45)	・国民学校を小学校と改める (47)		
・日本が戦争に敗れて, 太平洋戦争が終わる (45)	・PTAができる (47)		
	・新しい中学校, 高校ができる(48)		
昭 和	1950 (25)	・肱川線 (バス) が開通する (50)	
	・テレビ放送が始まる (53)		
	・町や村の合べいが進み, 河辺村(51), 大洲市 (54), 長浜 町(55), 肱川町(59) ができる	・大洲農業高等学校が独立する(52)	
	・柚木にごみ焼 却 場ができる (55)	・教育委員会ができる (52)	
	・大洲城の4つの櫓が国の重 要文化財となる (57)		
	・大洲養老院ができる (58)		
	・鹿野川ダムが完成する (59)		
	・大洲市上水道ができる		
	・鵜飼いを観光事業として復活させる		
	・新しい肱川橋ができる (61)	・大洲中が大洲南中と大洲北中に分 かれる (60)	
1960 (35)	・電話が自動化する (62)	・大洲学園(後に県立) ができる(61)	
	・NHK大洲 中 継所ができる (63)	・三善 中・粟津中が統合し, 大洲東 中となる (62)	
	・市立大洲 病 院ができる (64)	・肱川町内の中学校が統合し, 肱川 中ができる (62)	
	・しによろ処理 場ができる (64)	・帝京第五高等学校ができる (63)	
		・長浜町内の中学校が統合し, 長浜 中ができる (65)	
	・大洲消防署ができる (65)	・愛媛帝京短期大学ができる (66)	

ねん だい 年 代	地 い き の で き ご と	学校などのできごと
昭和	1970 (45) ・大洲市民会館ができる (68) ・市立図書館ができる (70) ・国道56号が二車線に改修される (70) ・「豊年踊り」が日本万国博覧会 (大阪) に出演する (70) ・国道56号の鳥坂トンネルができる (70) ・国道197号の夜昼トンネルができる (70) ・長浜臨海工業地帯の埋め立て工事が始まる (71) ・国立大洲青年の家ができる (74) ・肱川町庁舎が完成する (76) ・新長浜大橋が開通する (77) ・肱川町大谷に御在所「自然の森」が開所する (78) ・八幡浜・大洲地区総合運動公園ができる (79) ・河辺村郷土民俗資料館ができる (79) 1980 (55) ・国道197号バイパスの大洲西トンネルができる (81) ・河辺村役場新庁舎が完成する (82) ・肱川町大谷に郷土文化保存伝習館が落成する (83) ・大洲市新庁舎が完成する (84) ・長浜水族館が閉館する (85) ・国鉄予讃本線の内山線が開通する (86)	・喜多山小と新谷小が統合し、新谷小となる (69) ・南久米中と大洲南中が統合し、大洲南中となる (69) ・中津小と予子林小が統合し、予子林小となる (69) ・上須戒中と大洲北中が統合し、大洲北中となる (72) ・小・中学校にプールがでし始める (72) ・愛媛帝京短期大学が閉校になる (72) ・学校給食センターができる (73) ・大洲少年自然の家ができる (73) ・河辺村内の中学校が統合し、河辺中となる (74) ・大成中と菅田中が統合し、肱東中となる (80) ・富士中学校・帝京第五高等学校富士校ができる (80) ・出海中と長浜中が統合し、長浜中となる (83)
平成	1990 (平成2年) ・大洲市総合体育館ができる (88) ・河辺村の「ふるさとの宿」が営業を始める (88) ・長浜町役場新庁舎が完成する (89) ・高速バスが南予から大阪まで運行される (89) ・大洲家族旅行村オートキャンプ場ができる (90) ・河辺村に坂本龍馬脱藩の道記念碑ができる (90) ・大洲市・長浜町環境センターができる (91) ・おおず赤煉瓦館が整備される (91) ・徳森公園ができる (92)	・中野小校舎が落成する (88) ・河辺村内の小学校が統合し、河辺小となる (90) ・蔵川中と肱東中が統合し、肱東中となる (91) ・柳沢中と新谷中が統合し、新谷中となる (91) ・南久米小校舎が落成する (92)

年 代	地 い き の で き ご と	学校などのできごと
平成	2000 (12) ・如法寺(柚木)の仏殿が国の重要文化財となる(92) ・国道56号バイパス大洲道路が開通する(93) ・大洲市制40周年記念行事を行う(94) ・夏の干ばつにより各地に被害が出る(94) ・大洲市でジュニアトライアスロン大会が行われる(95) ・豪雨により家や農地に大きな被害が出る(95) ・フラワーパーク大洲が開園する(97) ・大洲市で科学体験フェスティバルを開く(97) ・文化研修センターが若宮に完成する(98) ・大洲市でごみの6種分別を始める(99) ・総合福祉センターが東大洲に完成する(99) ・四国縦貫自動車道伊予～大洲間が開通する(00) ・四国横断自動車道大洲～宇和間が開通する(04) ・大洲城天守閣が復元される(04) ・台風により、大きな洪水が起こる(04) ・大洲市・長浜町・肱川町・河辺村が合併して、新しい大洲市が誕生する(05) ・台風により、大きな洪水が起こる(05) ・長浜海水浴場が移転する(07) ・大洲市立図書館が新築移転する(09)	・初めて外国語指導助手(ALT)が着任する(96) ・大洲市中学生海外派遣事業が始まる(98) ・喜多小・蔵川小・田処小・柳沢小・上須戒小の5校にテレビ会議システムを導入する(99) ・若谷小と中野小が統合し、中野小となる(99) ・中江藤樹小学生交流事業始まる(00) ・白滝小学校舎が落成する(00) ・戒川小が休校になる(02) ・大洲小の校舎(03)・体育館(04)を改築する ・長浜中で給食が始まる(04) ・大洲少年自然の家が閉所される(07)
	2010 (22) ・地産地消拠点施設「愛たい菜」がオープンする(10) ・大手の電機工場が閉鎖される(10) ・「龍馬がゆく！」大洲150周年記念事業が開催される(12)	・柳沢小、田処小、新谷小が統合し、新谷小となる(11) ・出海小、喜多灘小、長浜小が統合し、長浜小となる(11) ・蔵川小と菅田小が統合し、菅田小となる(12) ・柴小、豊茂小、櫛生小、長浜小が統合し、長浜小となる(12)

ねん 年 代	地 い き の で き ご と	学校などのできごと
平成	2015 (27) ・現役最古の道路可動橋、長浜大橋が国の重要文化財となる (14) ・中村修二氏が、ノーベル物理学賞を受賞する (14) ・神伝流泳法が、日本水泳連盟から「主馬神伝流」として、13番目の流派に認定される (14) ・JR四国の観光列車「伊予灘ものがたり」が、松山～大洲・八幡浜間で運行を開始する (14) ・大洲市合併10周年記念式典を開催し、大洲市民の歌・シンボルマークを決定する (15) ・ふれあいパークができる (15) ・臥龍山荘が国の重要文化財となる (16) ・加藤貞泰・中江藤樹が大洲に来て400年となる (17) ・少彦名神社参籠殿がユネスコアジア太平洋文化遺産保全賞の最優秀賞を受賞する (17) ・第72回国民体育大会・第17回全国障がい者スポーツ大会が実施される (17) ・7月の西日本こう雨により大洪水が起こり大きな被害を受ける (18)	・学校給食センターを新築移転する。市内全学校が完全給食となる (12) ・南久米小と大洲小が統合し、大洲小となる (13) ・戒川小が廃校となる (13) ・中野小と正山小、大谷小、予子林小が統合し、肱川小となる (14) ・大成小と菅田小が統合し、菅田小となる (14) ・上須戒小と喜多小が統合し、喜多小となる (15) ・大和小と長浜小が統合し、長浜小となる (16) ・白滝小と長浜小が統合し、長浜小となる (18)
令和	2020 (令和2年) ・臥龍山荘庭園が国の名勝となる (21)	・河辺給食センターを大洲学校給食センターと統合し河辺給食センターは廃止する (21) ・帝京富士中学校・高等学校が閉校する (21)

しら 調べる手がかり

この副読本ふくどくほんに書かれている内容ないようをさらにくわしく知るためには、本やインターネットなどを使って調べてみましょう。

インターネットなどで調べたり、本に書いてあることや誰だれかが描えがいた絵やポスターなど利用りようしたりするときは、利用した本の題名やポスターの作者さくしゃなどを、はっきりと書いておくというルール（著作権ちよさくけん）があります。

また、写真しゃしんに写うつっている人の顔かおにも肖像権しょうぞうけんがあるので、きちんとルールにしたがって利用するよう気を付けましょう。

1 インターネットで調べる。

- (1) 検索けんさくサイト（yahooきっずやGoogle）を使う。
- (2) いくつかのサイトをえつらんし、それぞれのサイトを比べくらてみる。
- (3) 使ったときは、サイトのページ名やアドレスを書き写うつしておく。
- (4) 記録きろくの仕方しかた

大洲市のホームページばあいの場合

<https://www.city.ozu.ehime.jp/>，2021年3月25日

2 本で調べる。

- (1) 調べるときに使った本の名前，書いた人かいの名前，会社かいの名前，出版しゅっぱんされた日などを記録きろくしておく。
- (2) 本の中の文を使う場合は，何という本にあった言葉ことばなのか記録する。
- (3) 記録の仕方

・「大洲市誌し」，大洲市誌編さんへん会かい，平成8年3月

・「大洲のくらし」，大洲市教育研究所きょういくけんきゅうしよ小学校社会科班はんかい会編集へんしゅう，大洲市教育委員会い いんかい，令和4年3月25日

大洲市統計資料

大洲市の人口すい表

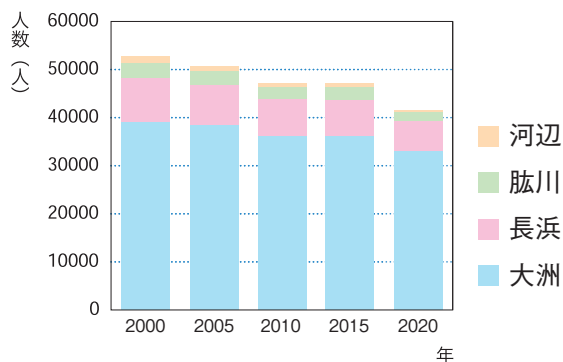
年	2000	2005	2010	2015	2020
大洲	39011	38458	36217	34549	32408
長浜	9266	8449	7531	6607	5808
肱川	3211	2790	2536	2216	1807
河辺	1274	1089	873	714	552
合計	52762	50786	47157	44086	40575

(人)

〔国勢調査より〕 ※2020 (令和2) 年



大洲市の人口のすいグラフ



(国勢調査より)

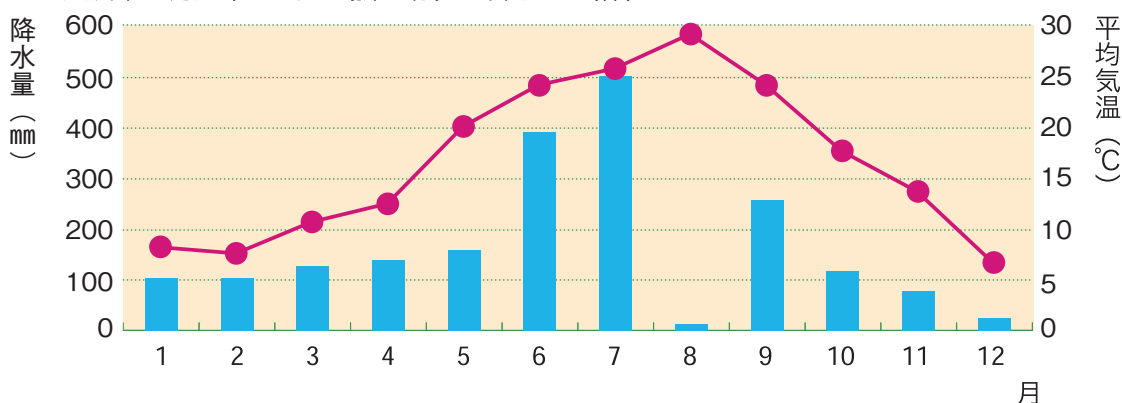
大洲市の面積 (432.12km²)

大洲	240.99 km ²
長浜	74.79 km ²
肱川	63.30 km ²
河辺	53.12 km ²

〔各地いきの要覧より〕

端数処理の関係で、合計がずれています。

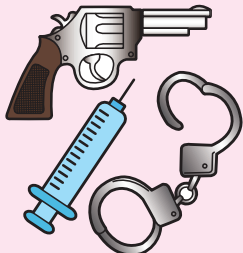
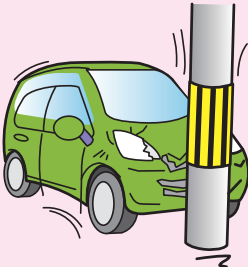
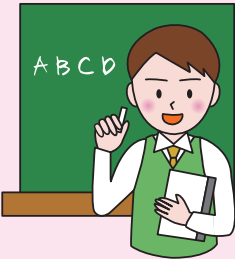
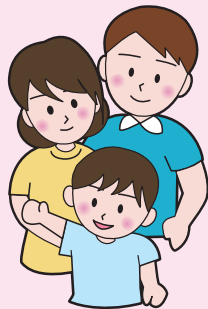
大洲市の月別平均気温 (折れ線) ・ 降水量 (棒)



最高気温 38.3°C (8月17日)
 最低気温 -1.8°C (12月26日)
 最大降水量 (1日) 125.8mm (7月7日)

〔2020 (令和2) 年愛媛県地いき気象観測年報より〕

目で見る市民の暮らし

●^{てんにゅう}転入 (R2年度) 965人  1日2.6人	●^{てんしゅつ}転出 (R2年度) 1275人  1日3.49人	●^{しゅつしやう}出生 (R2年度) 233人  1日0.64人	●^{しほう}死亡 (R2年度) 625人  1日1.71人
●^{けっこん}結こん (R2年度) 139組  1日0.38組	●^{じどうしゃ}自動車 (R2.3.31^{げんざい}現在)  1世帯に1.26台	●^{しやう}ごみしゅう集 (家庭ごみのみ) (R2年度) 13313トン  1日36.47トン	●はんざい (R2年度) 248件^{けん} (大洲署管内)  1日0.68件
●^{かさい}火災 (R2年度) 17件  1月1.41件	●^{こうつうじこ}交通事故 (R2年度) 59件 (大洲署管内)  1日0.16件	●^{きやういん}教員 (R3.5.1^{げんざい}現在)  小学生11.5人に1人 中学生 8.9人に1人	●^{せたいじんいん}世帯人員 (R3.3.31^{げんざい}現在)  人口41683人 世帯19785人 1世帯平均2.10人

(大洲市企画情報課及び消防ホームページより資料提供)

あとがき

社会科副読本「大洲のくらし」は、昭和39年に大洲市教育研究所社会科部会によって、初めて作成されました。

その後、大洲市の進展と社会の変化に応じて改訂を加え、今回が第9次の改訂となります。

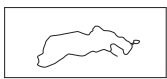
今回の改訂では、新小学校学習指導要領を踏まえて新しいデータや写真を取り入れるとともに、全面的に内容を見直しました。

この「大洲のくらし」が、児童の郷土を愛する心を育てるための一助となれば幸いです。

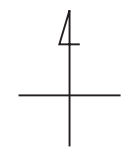
最後に、本書の改訂に際し、貴重な資料等を快くご提供くださいました皆様、並びに関係諸機関の皆様に心からお礼を申し上げ、発刊のご挨拶といたします。

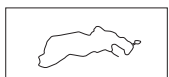
令和4年4月1日

編集委員一同

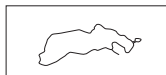
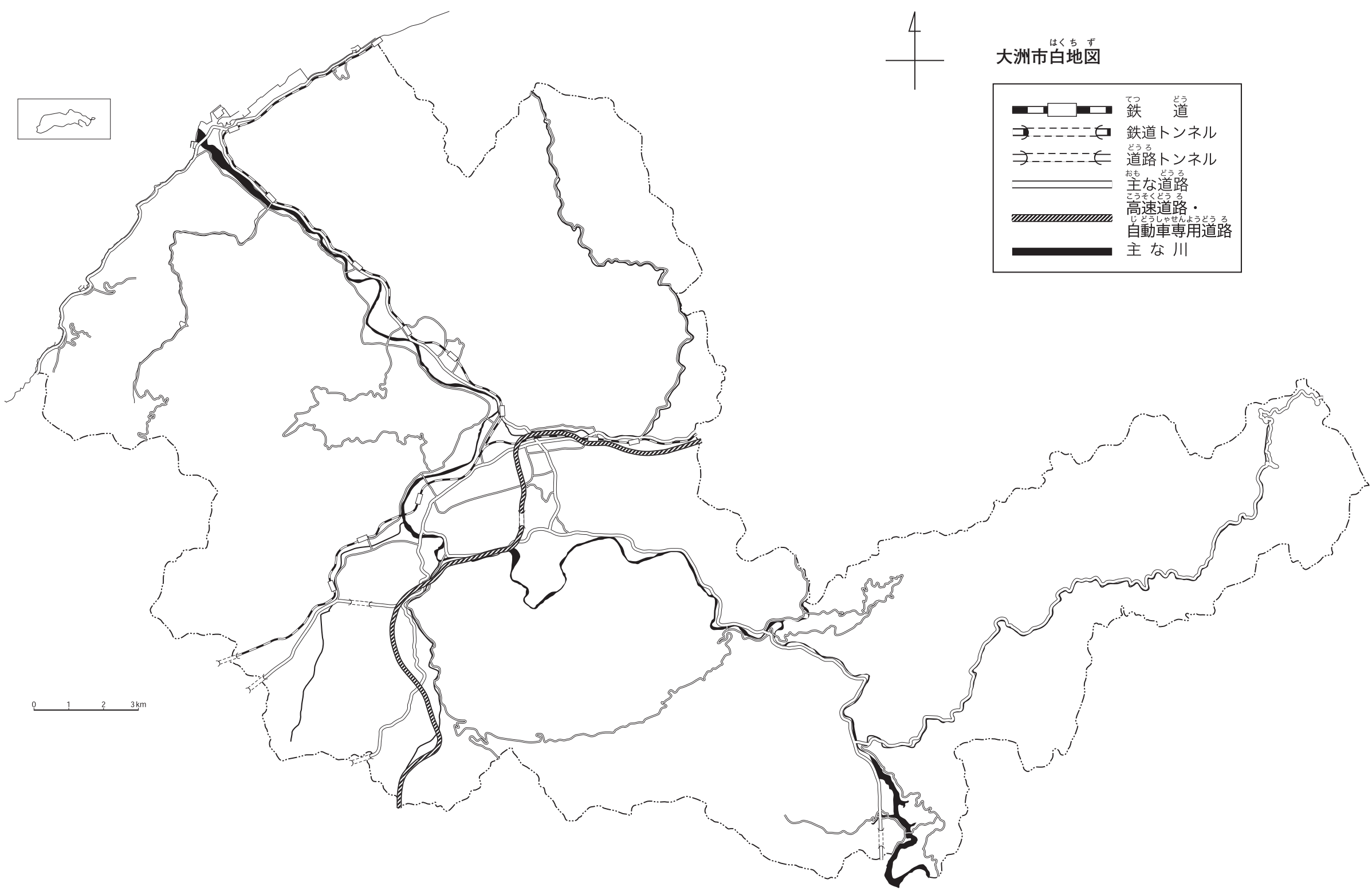


0 1 2 3 km





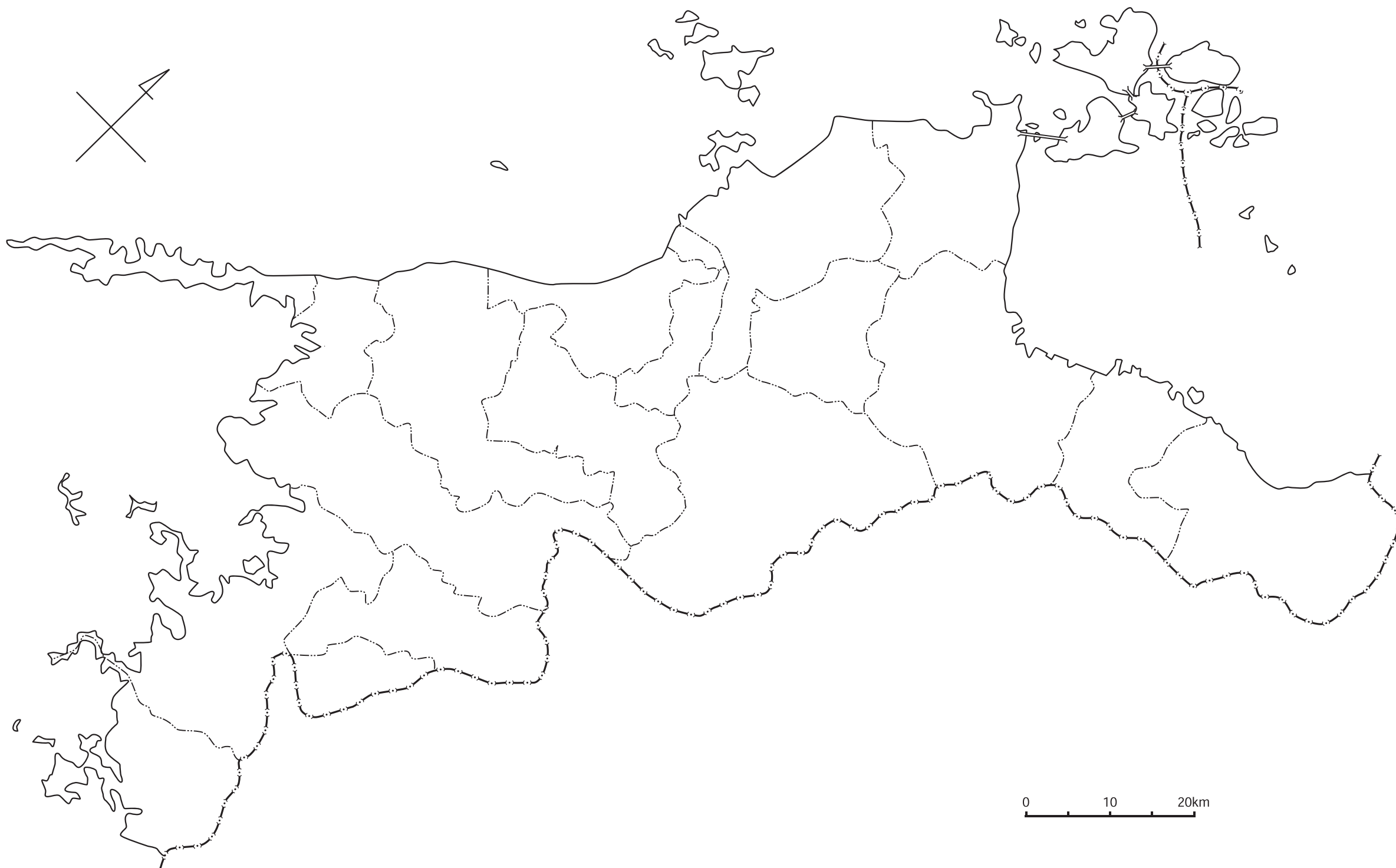
0 1 2 3 km



0 1 2 3km

はくち ず
大洲市白地図

	てつ とう 鉄 道
	鉄道トンネル
	道路トンネル
	おも とう 主 な 道 路
	こうそくとう 高速道路・
	じどうしゃせんようとう 自動車専用道路
	主 な 川



「大洲のくらし」編集委員

顧問	山内 好明		
編集委員長	藤川 幹雄		
編集副委員長	土居 英樹		
編集委員	岩本 久典	祖母井仁志	大川 博靖
	菊池 彰太	窪 伸一	櫻田 聖二
	高井 常博	二宮 研一	福住 真紀
	松田 佳彦		
市教育委員会	松井 康之	門多美千代	

小学校3・4年社会科副読本 大洲のくらし [第10版]

初版発行	昭和39年 4月 7日
改訂	昭和47年12月20日
	昭和55年11月 1日
	平成 5年 4月 1日
	平成 9年 4月 1日
	平成14年 4月 1日
	平成19年 4月 1日
	平成24年 4月 1日
	平成29年 4月 1日
	令和 4年 4月 1日

編集 大洲市教育研究所
(小学校社会科班会)

発行者 大洲市教育委員会
印刷所 佐川印刷株式会社